

シンポジウム 『自然免疫、その新展開』

日時 平成23年11月4日(金) 13:00 ~ 17:10 (12:00受付開始)

場所 東商ホール(東京都千代田区丸の内3-2-2 東京商工会議所4階)

入場料 一般:1,000円 学生:500円

----- プ ロ グ ラ ム -----

13:00 ~ 13:15 **開会挨拶**

自然免疫制御技術研究組合 代表理事 柚 源一郎
経済産業省製造産業局生物化学産業課 課長 斉藤 群 様
バイオインダストリー協会 専務理事 塚本 芳昭 様

13:15 ~ 14:45 **講演 (前半の部)**

座長 奥村 康 氏 (順天堂大学教授 / アトピー疾患研究センター長)

(13:15 ~ 14:00) 「プロバイオティクスの歴史と進化」

光岡 知足 氏 (東京大学名誉教授)

(14:00 ~ 14:45) 「パントエア・アグロメランスと免疫賦活作用」

柚 源一郎 氏 (香川大学客員教授 / 徳島文理大学大学院教授)

14:45 ~ 15:05 **休憩**

15:05 ~ 17:05 **講演 (後半の部) / パネルディスカッション**

座長 奥村 康 氏 (順天堂大学教授 / アトピー疾患研究センター長)

(15:05 ~ 16:05) 「新しい自然免疫学」

審良 静男 氏 (大阪大学免疫学フロンティア研究センター拠点長・教授)

(16:05 ~ 17:00) パネルディスカッション

(17:00 ~ 17:05) フロアコメント

17:05 ~ 17:10 **閉会挨拶**

自然免疫制御技術研究組合 副代表理事 上田 和男

主催 自然免疫制御技術研究組合

後援 経済産業省、一般財団法人バイオインダストリー協会、国立大学法人香川大学、
公益財団法人かがわ産業支援財団、独立行政法人科学技術振興機構 他

問い合わせ先

〒761-0301 香川県高松市林町2217-44 ネクスト香川301 自然免疫応用技研(株)内
自然免疫制御技術研究組合(中本) TEL:(087)867-7712 FAX:(087)867-7737

シンポジウム『自然免疫、その新展開』開催にあたり

日本は、いま世界のどの国も経験しなかった「高齢化」に突入しております。生活習慣病の蔓延に加えて、寝たきり・被介護者の数はうなぎ上りに増加し、「医療と健康」の分野には多くの難問が山積しています。加えて、医療・福祉財政は極めて深刻な状態にあり、抜本的な政策転換が強く求められています。

高齢化がますます進行する中で、来るべき時代には「病気になってからの治療」という受身の姿勢から一転して、「健康長寿の追求」と「治療から予防」への転換が求められるとの声が社会的に高まっています。また、こうした声に応えるべく、行政も「統合医療」や「予防薬」の解禁に向けた検討を進めています。

一方、学術研究の分野でも、生活習慣病やガンなどの難病に立ち向かうために、「予防医療へのシフト」は不可欠な課題となっています。そして、健康維持の中心的な機能の一つとして「免疫力」が注目され、「免疫力」の維持・増強が重要であるとの認識が高まってきました。免疫は、生物個体の恒常性・健康の維持に欠かせない個体特有の機能で、自然免疫と獲得免疫が知られています。ところで、今回の大震災では放射線の体内被曝による健康障害が大きな社会問題になっています。自然免疫を活性化する物質が放射線障害を予防する効果を持つことは古くから知られているなど、自然免疫は健康維持に重要な役割をもつと考えられますが、これまでの免疫学研究では、とすれば、獲得免疫に比重が置かれてきたきらいがありました。近年、生物進化と免疫の関わりについての研究を始め、自然免疫と獲得免疫の連携に関する研究が進み、自然免疫こそ免疫の基盤であるとするパラダイムシフトが起こりつつあります。そして自然免疫の分野を中心に、従来の免疫学の概念を覆す研究や「免疫療法」の開発などが進んでいます。具体的一例をあげれば、腸内細菌は免疫を通じ腸管の恒常性の維持に役立ち、またこれらの構成成分によりアレルギー疾患や感染症、そして発ガンを予防できる可能性が明らかにされつつあります。

さて、「自然免疫制御技術研究組合」は、経済産業省の認可を受け、平成22年3月8日に、技術研究組合法改正後では全国で12番目、四国では初めて設立されました。現在、自然免疫活性を制御するさまざまな新規な素材の研究開発に取り組むとともに、自然免疫制御による健康維持戦略の確立に向けリテラシー向上の活動にも力を注いでおります。私どもは、以上の活動が、新しいライフサイエンスの分野を開拓して、新規なメカニズムをもつ医薬や疾患予防等に役立つ機能性食品・化粧品、安心安全に感染予防を果たす水産畜産飼料の開発など、高齢化社会にこれまで以上に必要とされる多くの製品を創生する基盤を作ることになると考えています。これらの活動を推進する上では、多くの方々のご支援・ご理解が必須であることは言うまでもありません。

そこで、こうした免疫分野における最新の研究の動向を、自然免疫に焦点をあてて、わかりやすく紹介することが重要との認識の下、各分野における著名な研究者をお招きし、アウトリーチ活動の一環として、シンポジウムを開催することになりました。免疫関連の研究者(学生さんを含む)はもちろんのこと、予防医療や健康産業に携わっておられる各界の皆様、そして免疫に興味をお持ちの皆様に、自然免疫に関する研究と開発の現状やこれからの展望を理解して頂く機会としたいと存じます。

たくさんの方々にご出席を賜りますよう、ここにご案内申し上げます。

東商ホールアクセスマップ



最寄りの交通機関

- 都営三田線
日比谷駅より徒歩2分
- 千代田線
二重橋前駅より徒歩2分
- 日比谷線
日比谷駅より徒歩8分
- 有楽町線
有楽町駅より徒歩3分
以上の駅からはB7出口が便利です。
- 丸の内線
東京駅より徒歩10分
- JR有楽町駅より徒歩5分
- JR東京駅
丸の内南口より徒歩10分
- JR京葉線
東京駅より徒歩5分

東商ホール(東京商工会議所ビル4F)
〒100-0005 東京都千代田区丸の内3-2-2
TEL : 03-3283-7500

申込期限:10月31日(月)

シンポジウム『自然免疫、その新展開』参加申込書

参加ご希望の方は、以下の太線枠内に必要事項をすべてご記入の上、FAXまたは電子メールにてお申し込みください(個人で参加される方は、連絡先とお名前のみご記入ください)。

折り返し、自然免疫制御技術研究組合より、受領確認の連絡をさせていただきます。

企業・団体・大学名		
連絡先	TEL :	FAX :
	電子メールアドレス :	
	ホームページURL :	

お名前	所属・役職

本シンポジウムを知ったきっかけ (<input checked="" type="checkbox"/> を入れてください)	<input type="checkbox"/> 本組合ホームページ <input type="checkbox"/> シンポジウムちらし <input type="checkbox"/> 知人・取引先の紹介 <input type="checkbox"/> 新聞記事(新聞名:) <input type="checkbox"/> その他()
--	---

ご提出いただいた個人情報は、本シンポジウムの目的以外には使用いたしません。

お申し込み先

FAX:(087)867-7737 / 電子メール:ciitra@shizenmeneki.org

問い合わせ先

〒761-0301 香川県高松市林町2217-44 ネクスト香川301 自然免疫応用技研(株)内
自然免疫制御技術研究組合(中本) TEL:(087)867-7712 FAX:(087)867-7737